



## 1. 過去と現在、現在と未来が見える街「鶴岡」

山形県鶴岡市は、日本海に面する庄内地方の南部に位置し、江戸時代には、徳川四天王の一人である酒井忠次の孫・忠勝が入封して庄内藩が治めた城下町です。明治維新以降は、庄内地方の中心的な都市として文化、産業など様々な面で地域を牽引してきました。平成17年10月に6市町村が合併して現「鶴岡市」となり、人口は山形県で第2位、面積は東北で第1位の都市です。鶴岡は日本で初の「ユネスコ食文化創造都市」に認定されております。

## 2. SDG s 未来都市「鶴岡」

山形県鶴岡市は、国の指定する「SDG s 未来都市」に認定されており、森・食・農の文化と先端生命科学が共生する“いのち輝く創造と伝統のまち鶴岡”創出事業を掲げています。また、独自に「豊かな自然環境」「発展する産業経済」「充実した市民社会」の充実についても、2030年向かい取組んでおります。

## 3. プログラムの内容

SDG s の考えに基づき持続可能な社会を目指すにあたり、一番身近な課題である「環境問題」について、鶴岡市を通じて学ぶことにより、自らの地域においても持続可能な環境を考える学びを行う。

# 学習のねらい：「SDG s 学習」「環境学習」

### 旅マエ

#### 1. つかむ(課題設定)

環境問題について考える。  
身近では、どんな課題があるか考える。

#### 2. さぐる(課題訴求)

その課題に対して

- ・現状はどんな状態だろうか
- ・それはどのように取組んでいるのだろうか
- ・その取り組みをしないと、どのような社会になるのだろうか（持続可能な社会にするためには）

◆ 「ツール」「映像」の活用

### 旅ナカ

#### 3. 深める(東北での修学旅行)

- (1) 現状を知る(共通)  
加茂水族館で現在どのような状況なのか「海洋ゴミ学習」の実施
- (2) 現状を体験する(共通)  
実際に、湯野浜温泉にて「海洋ゴミ収集体験」を実施し、実態を確認する。
- (3) 鶴岡市の施設にて「リサイクル」「焼却」「埋め立て」「循環」「エネルギー創出」について学ぶ(クラス別)

### 旅アト

#### 4. 広げる(修学旅行からの振り返り)

東北で経験したことを「地域」や「自分」に置き換え実際に「どのようにし持続可能な社会を守るか」を考え「行動」や「発信」を行う。

◆課題整理、まとめ、検証

#### 学びのゴール

「間接体験」や「直接体験」を通じて得られた情報をもとに、情報を再構成しながら自分の考えをもち、「発信」や「行動動機」ができるようになる。

# 鶴岡市の修学旅行プログラム

SDGs 未来都市「鶴岡」にて、「環境」における「持続可能な社会」を深く学ぶ

学びの過程

課題訴求(共通体験)

課題の深堀り(クラス別学習)

学びの場

学校

鶴岡市

学校

学習内容

「ツール」「映像」を活用

## ◆身近な環境問題を考える

「ツール」を活用し、身近な地域や学校・家庭などで考えられる環境問題について、ツールを活用し考える



## ◆SDGs 未来都市鶴岡市について、理解を深める。

「映像」を活用し、鶴岡での学びや、鶴岡市について、理解を深める。

※シート3・4参照

海洋ゴミ学習

全員

## ◆加茂水族館にて環境問題を考える(海洋ゴミ学習)

「クラゲの展示数」世界一をほこる加茂水族館では、特別プログラム「環境学習」(無料)を体験する事ができます。ペットボトルなど海洋ゴミ等について考えます。

※シート5参照



海洋ゴミ収集体験

全員

## ◆海洋ゴミ収集体験

「湯野浜温泉」海岸にて、実際にゴミ収集体験を行い、海洋ゴミの現状を確認する。

※ホテル到着前の夕方又は翌日早朝等、体験可能。



下水道資源環境・処理水活用

選択

## ◆BISTRO 下水道

- ・下水道の資源環境
- ・処理水によるアユ養殖  
※シート7参照



ゴミの焼却・再利用など

選択

## ◆つるおかエコ・アース

- ・安全安心の環境対策
- ・電力の地産地消

<https://tsuruokaecoearth.ekankyo21.com/>



## ◆振り返り学習

東北で経験したことを「地域」や「自分」に置き換え実際に「どのようにし持続可能な社会を守るか」を考え「行動」や「発信」を行う。

◆課題整理、まとめ、検証

# 過去と現在、現在と未来が見える街

鶴岡市は、山形県で日本海に面する庄内地方の南部に位置し、江戸時代には、徳川四天王の一人である酒井忠次の孫・忠勝が入封して庄内藩が治めた城下町です。明治維新以降は、庄内地方の中心的な都市として文化、産業など様々な面で地域を牽引してきました。

平成17年10月に6市町村が合併して現「鶴岡市」となり、人口は山形県で第2位、面積は東北で第1位の都市です。



**ま** なんて感動！国内で唯一の「ユネスコ食文化創造都市」分野への加盟や3つの日本遺産認定「出羽三山」「サムライゆかりのシルク」「北前船寄港地・船主集落」など歴史と先人が守り続けた伝統文化が息づいています。

**な** まえも話題になった山形県産米「つや姫」「雪若丸」の誕生、だだちゃ豆などの在来作物が豊かな実りをもたらす農業、世界最先端のバイオ研究など高等教育研究機関の集積とベンチャー企業の躍進は全国から注目を集めています。

**ふ** なの林が息づく山々や厳しくも美しい自然の中に城下町の佇まいや近代の息吹が共存する鶴岡。本物にふれて楽しむ感動体験、学びながらヒントをつかみ未来につなぐ、そんな旅をご紹介します。



# 日本で唯一の食文化創造都市

## 世界が認めた鶴岡の食文化

## 世界のユネスコ食文化創造都市

平成26年12月、鶴岡の食文化がユネスコより高く評価され、本市は国内で初めてユネスコ食文化創造都市となりました。

鶴岡の食文化は、世代を超えてこの地域で栽培され、その種を守り継いできた「在来作物」の存在、それぞれの家庭で継承されてきた「孟宗汁」などの郷土料理や年間の催事で食べられる行事食、季節に応じて様々な魚介類が水揚げされる庄内浜の恵み、豊作を願い田の神、山の神に祈りをささげてきた食への精神文化など多くの特徴があり、この多様さが地域の豊かさそのものと言えます。

鶴岡の四季と歴史文化が織りなす食の数々とともに、その背景にある物語りを探ってみませんか。

[世界で36都市の1つに認定]



生きた文化財「在来作物」



一年を通じた多様な食材と郷土料理



歴史ある行事食



creative-tsuruoka



# 加茂水族館で 海洋環境について **ま**なぶ

クラゲの展示種類数世界最大級を誇る水族館で、様々な形や大きさ、色をしたクラゲを観察し、解説プログラム「クラゲのおはなし」で生態や繁殖、分類などについて学ぶことができます。普段は入れないレクチャールームでの特別プログラム「クラゲ学習会」(無料)を受けることもできます。



生きた  
海洋生物と  
海の未来を  
考える!

生態や繁殖、分類などについて、スライドや動画で解説したり、実物のクラゲで観察したりします。



希望日の1か月前までにホームページ内の申込みフォームよりお申込みください。



加茂水族館  
ホームページ

学習・体験(無料)

鶴岡市立加茂水族館

〒997-1206 山形県鶴岡市今泉宇大久保657-1

TEL 0235-33-3036

お問い合わせ

※入館料は別途必要です。



# 鶴岡市が目指す2030年のあるべき姿



# 食文化創造都市鶴岡のBISTRO下水道



鶴岡で  
実施中の事業

① 消化ガス発電と余熱利用

③ 処理水でアユ養殖と水耕栽培

② 処理水灌漑による飼料米栽培

④ コンポストの利用促進

BISTRO下水道の取組み  
YouTube鶴岡市公式  
チャンネル



BISTRO下水道と  
鶴岡バイオガスパワーによる  
下水道資源環境イメージ



施設見学  
お問い合わせ  
鶴岡浄化センター  
〒997-0011  
山形県鶴岡市宝田3丁目21-1  
TEL.0235-24-7033

# プログラムのお問い合わせは

デガム(DEGAM)とは.....  
出羽三山(DE)・ガストロノミー(食文化 GA)・マネジメント・マーケティング(M)です。  
ラテン語でdegamは、生きる、修行するなどを意味し、旅を連想させる言葉です。



一般社団法人 **DEGAM** 鶴岡ツーリズムビューロー

〒997-0015 山形県鶴岡市末広町3番1号 マリカ東館2階 TEL.0235-26-1218 FAX.0235-26-7322